

平成18年5月15日  
溶学研第18-16号

委員各位

社団法人 溶接学会  
軽構造接合加工研究委員会  
委員長 菅 泰雄  
JIW No.3 委員会  
委員長 里 中 忍  
(公印省略)

## 開催案内

第73回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、  
万障お繰り合せの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

なお、ご出欠は、回答欄にご記入の上、e-mail(s\_kogure@tt.rim.or.jp)または  
Fax(03-3253-3059)にて平成18年6月1日(木)までにお知らせ下さい。

## 記

### 1.日時

平成18年 6月 8日(木) 10:30～16:45  
(表彰式・懇親会 17:00～18:30)

### 2.場所

全共連ビル 本館  
地下1F 18会議室(案内図参照)  
東京都千代田区平河町2-7-9  
TEL:03-5215-9501(代表)

### 3.幹事会開催のお知らせ

当日の昼食時に幹事会を地下1F-M11会議室で開催致します。  
役員及び幹事(またはその代理)の方は是非ご出席下さい。

### 4.懇親会のお知らせ

講演終了後、懇親会(参加費無料)を行います。ぜひご参加下さい。  
懇親会会場は、同ビル(全共連ビル本館)1F「Salon de SALON」  
にて行います。

軽構造接合加工研究委員会では、委員会情報のWWWサービスを行っております。  
次のアドレスにアクセスしてみてください。

<http://www.cda.ics.saitama-u.ac.jp/jws-MP/>

ただし、これには本研究委員会参加委員のみ限定のサービスも組み込まれています。このサービスを受けるにはパスワードが必要です。溶接学会事務局に会社名、申込者名及び e-mail アドレスを付けてお問い合わせ下さい。後日 e-mail を通じて個別にお知らせします。

プログラムは都合により若干変更することがありますので、予めご了承ください。

質疑は、自由討論の場にしたいと思います。活発なご質問、ご意見をお待ちしております。

一事業所から3名以上ご出席いただく場合には、3名目の方から参加費として、1名につき2,000円 納入願いますのでご了承下さい。なお、この場合には、あらかじめお知らせ下さい。

特集テーマだけでなくこれ以外の発表資料も募集しております。発表していただける方は事務局または幹事までご連絡下さい。現場ニュース、研究速報も歓迎いたします。

軽構造接合加工研究委員会では、前身の抵抗溶接研究委員会及び抵抗溶接研究討論会の配布資料一覧表を作成し、各参加委員会社の便に供するようにしております。この一覧表には、抵抗溶接研究委員会分の全資料377件と研究討論会分の全資料141件のタイトルと著者名、及びページ数と図表数がまとめてあります。一冊¥1,000(送料別)で頒布しておりますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

平成8年7月10日に開催しましたアルミスポット溶接分科会の成果報告書(『アルミニウム合金板とアルミ鋳物の接合技術』)を委員会委員には特別価格1冊 5,000円(送料別) < 一般販売価格:¥12,000- > で販売しております。共同調査結果の生データも分かり易く整理されて多数掲載されていますので、ご購入されれば有用な資料となると思われます。

平成14年7月25日に開催しましたシンポジウム「21世紀の自動車における接合技術」(JAAA 2002)資料を販売しております。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

資料集1部	5,000円
同 CD-ROM1枚	5,000円
資料集1部+CD-ROM	6,000円(各税込・送料別)

平成17年10月13～14日に開催しましたシンポジウム「21世紀の自動車における接合技術」(JAAA 2005)資料を販売しております。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

資料集1部	5,000円
同 CD-ROM1枚	5,000円
資料集1部+CD-ROM	6,000円(各税込・送料別)

昼食は、各自ご用意下さい。

## 第73回 軽構造接合加工研究委員会プログラム

－接合プロセスの監視・制御・品質監理及び生産システムの最適化－

1. 日時：平成18年 6月 8日(木) 10時30分～16時45分
2. 場所：全共連ビル 本館 地下1F No.18会議室
3. プログラム(都合により、若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます。)

時間	題 目	講 演 者
10:30～11:15	超音波フェイズドアレイ及び渦流アレイによる 軽構造接合部非破壊探傷への適用(MP-398-2006)	オリンパス NDT(株) 江原 英治
	溶接部非破壊検査では、近年、新技術である超音波フェイズドアレイ及び渦流アレイ方式での探傷が注目され、各種接合部への適用が急速に進んでおります。軽構造接合部への適用として、FSW 及び TWB 接合部探傷の原理概略及び適用実例を紹介する。	
11:15～12:00	ウエルドプリント / アーク溶接における品質管理及び 溶接不良のリアルタイム検知システム(MP-399-2006)	ガ德里ウス(株) 産業・環境機器事業部 大畑 章
	溶接電流、電圧を4,000ポイント/0.5秒毎に測定し、そのデータを独自の解析・処理・統計的判断を行うことによって、リアルタイムで溶接品質を検査するシステムを紹介する。	
12:00～13:00	昼食および休憩(幹事会の開催)	
13:00～13:30	委員会(軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会)議事	
13:30～14:15	高板厚比三枚重ね抵抗スポット溶接プロセスの開発 (MP-400-2006)	JFEスチール(株) スチール研究所 ○沖田 泰明、池田 倫正 小野 守章、安田 功一
	板厚比の大きな三枚重ね抵抗スポット溶接において、通電中の加圧力制御を適用することにより薄板-厚板間でのナゲット形成を促進させ、溶接継手強度の信頼性の向上を可能にした新しい抵抗スポット溶接について紹介する。	
14:15～15:00	低スパッタ・低入熱 GMA 溶接ロボットシステムの開発 (MP-401-2006)	(株)ダイヘン 溶接メカトロカンパニー ○恵良 哲生、井手 章博 廣田 周吾、上山 智之
	パルスなし GMA 溶接において、溶滴の移行状態に応じてアーク再点弧の予測感度を最適化し、アーク再点弧前に溶接電流を急減することによってスパッタの発生を抑制する CBT(Controlled Bridge Transfer)法により、外乱に強い低スパッタ GMA 溶接が可能となる。また、新コンピュータとロボット RS(Retract Start)制御と組み合わせた溶接ロボットシステムにより、更なるスパッタ抑制効果を得ることができる。	
15:00～15:15	休 憩	
15:15～16:00	高張力鋼のレーザーMAGハイブリッド 溶接継手の組織と継手性能(MP-402-2006)	名古屋大学 ○劉 忠杰、沓名 宗春
	790MPa 級高張力鋼のレーザーアークハイブリッド溶接継手の金属組織、合金元素の分布状況、硬さ分布、引張試験結果およびハーフサイズVチャルピー衝撃試験結果などについて報告する。	
16:00～16:45	カラーII.を用いたレーザーアーク ハイブリッド溶接の観察(MP-403-2006)	(株)東芝 電力・社会システム 技術開発センター ○椎原 克典、牧野 吉延 浅井 知、小川 剛史
	YAGレーザーとTIGアークハイブリッド溶接の溶接中の現象をカラーII.にて撮影し、溶込みに及ぼすアーク電流の影響について調査、観察した結果を報告する。	
17:00～18:30	表彰式・懇親会 全共連ビル本館1F「Salon de SALON」	